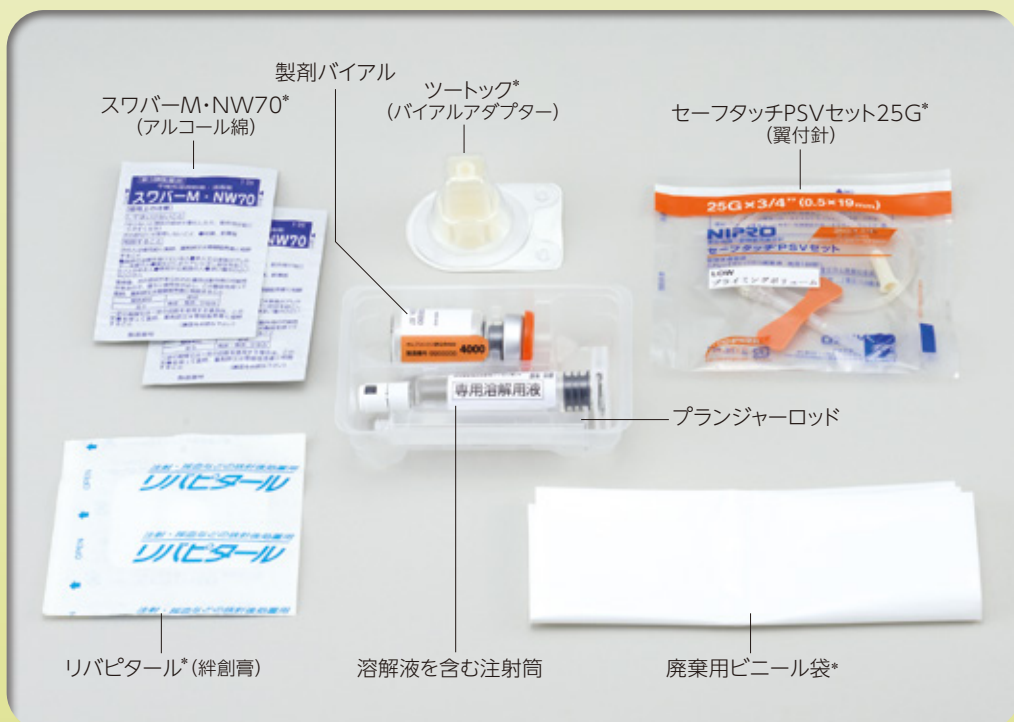


Dissolution method

オルプロリクス®の 溶解方法

～注射までに準備しておくこと～



*サノフィ輸注セットに含まれているもの

- 操作を行うための適切な場所を確保し、作業場所等の消毒を行ってください。
- 操作前は手を洗い、清潔にしてください。
- 輸注セットは製剤と別に添付されています。

オルプロリクスの溶解方法

～注射までに準備しておくこと～

1

紙箱を開封し、プラスチックトレイを引き出します。

【確認1】本剤及び添付溶解液が室温に戻っているか確認しましょう。

【確認2】操作前に製剤バイアルまたは注射筒に異常がないことを確認し、使用期限が切れている、異物が混入しているまたは破損・損傷を認める場合は使用しないでください。



2

製剤バイアルのキャップを外し、ゴム栓をアルコール綿で消毒します。消毒後、製剤バイアルをケースに差し込みます。

【注意】消毒後にゴム栓に触らないようにしましょう……………



3

バイアルアダプターのトレイのラベルをはがします。

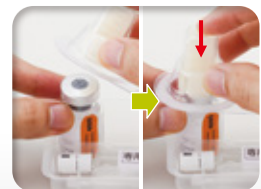
【注意】針の部分には、触らないようにしてください……………



4

トレイに入れたままアダプターを製剤バイアルにしっかりと差し込み取り付けます。

【注意】注射筒との接続部分には、触らないようにしてください……………



5

注射筒のゴム栓に、プランジャーロッドを時計回りに回しながらしっかりとはめ込みます。

プランジャーロッドが少し重たくなるまで回すのが目安です。



6

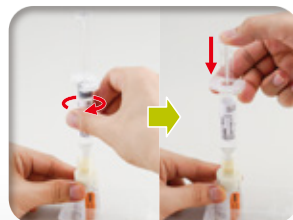
注射筒の先端についているキャップを左右に折って、取り外します。

【注意】キャップを取ったあと、注射筒の先端に触らないよう気をつけましょう……………



7

注射筒を時計回りに回しながらアダプターに差し込み、プランジャーロッドをゆっくり押しながら溶解液を製剤バイアルへ移します。



8

製剤バイアルをゆっくりと円を描くように1～2分間回して、中の製剤を完全に溶かします。

【注意】製剤が完全に溶けて固まりが残っていないか、目で確認してください



9

製剤が溶けて、わずかな乳白色または無色透明な液体になったら逆さにし、プランジャーロッドをゆっくり引いて、製剤バイアル内の薬液を注射筒に移行します。

【注意】プランジャーロッドを引きはじめたら、途中で薬液を製剤バイアル内に戻さないでください



10

薬液の移行が終わったら、製剤バイアルを注射筒ごとケースに差し込みます。次に袋の切口側に翼付針の接続部分をよせて、袋をあけます。



11

注射筒を反時計回りに回して製剤バイアルから取り外し、翼付針を取り付けて注射の準備は完了です。翼付針は注射するまで、袋に入れたまま清潔に保ちましょう。



- 自己注射を行う場合は「オルプロリクスの自己注射手順」を参照してください。
- 溶解の操作・手技について疑問または不明点がある場合には、医師に相談してください。
- 複数の製剤バイアルを組み合わせて使用する場合は、医師の指示に従ってください。

Q. 冷蔵庫から取り出した製剤を室温に戻したのですが、使用しなかった場合、もう一度冷蔵庫に戻してもいいのでしょうか？

A. 室温(30℃以下)に戻した製剤は、冷蔵庫に戻すことはできません。
未使用の場合に限り、使用期限を超えなければ外箱に入れた状態で、室温で6ヵ月間保存することができます。



Q. バイアルアダプターの接続部分や注射筒の先端を指で触ってしまった場合、どうすればいいのでしょうか？

A. バイアルや注射筒の接続部分は、清潔に保たなければなりません。
器具は使用せずに、新しいものを準備しましょう。

Q. 製剤の粉末がなかなか溶解しません。固まりが残ったまま注射しても、大丈夫でしょうか？

A. 粉末が溶けないと製剤の効果に影響をおよぼすため、固まりは全部溶かしてから注射してください。溶けにくいと感じたときは、少し長い間バイアルを回しましょう。
溶けないからといって、激しく振ってはいけません。浮遊物が残っていたり、溶液が濁ったときは、使用しないで新しい製剤を準備してください。

*オルプロリクスの溶解液は、無色～わずかな乳白色になります。



Q. 製剤を溶解した薬液は、どれくらい保存することができますか？

A. 薬液は速やかに使用することが望ましいのですが、室温(30℃以下)で6時間保存することが可能です。
6時間以内に使用しなかったときは、廃棄してください。

製造販売：サノフィ株式会社

〒163-1488

東京都新宿区西新宿三丁目20番2号